

もみじ

Vol. 17

春号



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC175号一般病院



理念 県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

「院長就任のごあいさつ」

本年4月に大濱紘三前院長の後任として院長に就任いたしました。

私は昭和54年8月から当院で約30年間内科診療に従事しており、この経験を生かすとともに、皆様の声を大切にしながら病院の舵取りをしていきたいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

さて、当院は明治10年に公立広島病院として設立され、昭和23年からは現在の地で県立広島病院として発足し現在に至っております。これまで県民の皆様や医療連携をいただいている医療関係の皆様など多くの方々のご支援により、ベッド数700床の広島県の基幹病院として救急医療、母子・周産期医療、がん医療、災害医療、地域支援医療などの政策医療を提供して参りました。今年3月には、日本一だと評価の高い「母子総合医療センター」を、発展・改組し、妊娠、出生から小児、思春期を経て成人に至るすべての成長過程において、一元的・継続的な医療を提供する「成育医療センター」として開設いたしました。

また、4月からは医療・福祉などについて気軽に相談いただけるように、相談部門についてもスタッフを充実させたところです。これらの新たな取組みを積極的に活用していただきますようお願いいたします。

また、当院のもう一つの使命として、教育研修面においても多くの部署で研修生を受け入れ、職員は各地で講義・講演を行い、医療者の育成、教育に努めております。

最近しばしば報道されていますように、世界に誇る日本の医療が崩壊するのではないかと心配されていますが、医療の機能分担も必要で、国は診療所はかかりつけ医として、病院は診療所との連携を強化して、より専門的な診療を行うように指導しています。当院も、医師などが一部不足している中で、職員は皆様の期待に応えるべく懸命に努力しておりますし、病院としても皆様のためのより良い病院にしようと常に考えております。

病院は、地域のために安全で信頼される医療を続けなければなりません。この医療を守っていただくのは地域の皆様です。ぜひともご支援していただくとともに、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



院長
桑原 正雄

● 成育医療センターを開設しました ●

県立広島病院の「母子総合医療センター」は平成21年3月14日に「成育医療センター」として新たに発足いたしました。

当院は平成7年に「母子総合医療センター」を開設し、平成10年には国が都道府県に1ヶ所整備をすすめた「総合周産期母子医療センター」の指定を中国四国地方で初めて受けるとともに機能を充実強化させ、県内の周産期医療の向上に努めてきました。

その結果、広島県はお母さん、赤ちゃんにとって全国でトップクラスのもっとも安心・安全な県として高く評価されています。

これまでに、小児感覚器科（視覚・聴覚・ことばの医療）、小児腎臓科、生殖医療科(不妊医療)を新設し、産科と新生児科の周産期部門を一段と拡充・増床し、小児科・小児外科と婦人科病棟を改築し「成育医療センター」として整備しました。成育医療センターでは、これら診療科の機能を総合的に連携させ、妊娠、出産、新生児、小児、思春期、成人に至るライフ・ステージで継続したチーム医療を行ない、次世代を育成する一貫した医療を提供していきます。



副院長
成育医療センター長
占部 武

あらゆるライフステージの「安心」を支える医療を提供します。



● 病院機能評価の認定更新がされました！ ●



医療サービスは、医療に携わる全職員の技術的・組織的な連携のもと、患者・家族のニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的に提供していく必要があります。病院機能の一層の充実・向上のために病院自らの努力が必要であり、さらに効果的とするために第三者による評価が必要です。病院機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、明らかになった問題点を改善・指導する第三者機関として『日本医療機能評価機構』が平成7年に設立されました。

当院は平成15年9月に受審し、16年4月に『日本医療機能評価機構』から初めて認定を受けました。認定期間は平成21年4月までの5年間で、更新のために昨年9月に改めて受審し、今年の2月に認定更新が認められました。

評価項目について、当院の場合は7領域について評価を受けました。①「病院組織の運営と地域における役割」、②「患者の権利と安全確保の体制」、③「療養環境と患者サービス」、④「医療提供の組織と運営」、⑤「医療の質と安全のためのケアプロセス」、⑥「病院運営管理の合理性」、⑦「精神科に特有な病院機能」に分かれています。7つの領域は多くの評価項目（大項目60、中項目178、小項目579）から構成されます。審査は中項目・小項目についてそれぞれ自己評価を行い、審査員は自己評価が妥当かを検証して評価・指導します。

今回の審査を平成15年度の評価と比較してみますと、全体として前回よりも高い評価を獲得しております。中でも新たに評価対象となった「チーム医療」の実績が認められるとともに、「DPCの導入、ドクターヘリの事業による広域患者の収容、がん医療に関する外来化学療法を整備として臨床腫瘍科、少子化対策として生殖医療科の設置など、県民の生命と健康を守ることに使命感あふれる職員の姿勢がうかがえた。」との総括意見をいただき、県立病院としての役割を十分果たしていることが評価されました。

今後も医療の質の向上、安心・安全な医療の提供、より快適な療養環境の整備に取り組んでいきたいと思っております。



副院長
今川 勝

● 64列マルチスライスCTの導入 ●

放射線科主任部長 門前 芳夫

この度、新しく導入され、4月より稼働している64列マルチスライスCTは、最新鋭の優れた画像診断装置です。以前のCTが、1回転で、1断面の画像を得ていたのに比べ、64列マルチスライスCTは、1回転で64枚の断面像を撮ることができます(図1)。

撮影速度が速く、短時間に広範囲の高精細な画像の取得が可能になりますので、従来のCTよりも患者さんへの被ばく量も軽減されます。大きな利点として、体の広い範囲の立体画像が大変明瞭になり、血管や骨の状態を三次元画像としてカラー写真で容易にとらえることができます(図2)。

また、従来は心臓の動きによりむずかしかった心臓の血管(冠動脈)の撮影が容易になり、正確な診断が可能になります(図3)。

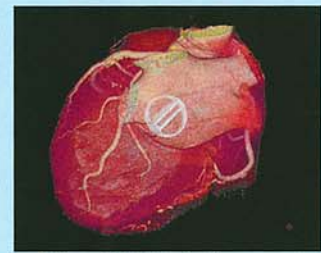
心臓カテーテル検査は、患者さんには、大変負担のかかる検査ですが、この64列マルチスライスCTによる検査では、患者さんの身体に触れることがないので出血などの危険もなく、短時間で検査ができるため心疾患の検査として格段に利用していただきやすくなるものと思います。心臓カテーテル検査との違いは表1をご参照ください。



▲64列マルチスライスCT外観(図1)



▲胸部・腹部・下肢動脈(図2)



▲心臓の立体画像(図3)

64列マルチスライスCTと心臓カテーテル検査との比較 (表1)

項目	64列マルチスライスCT	心臓カテーテル検査
造影剤アレルギーの危険性	あり	あり
検査に伴う出血の危険性	なし	あり
検査そのものに要する時間	1分以内	30分から1時間
検査に入院の必要性	なし	あり
外来での検査	可能	通常不可能
費用(自己負担)	1.2万円(3割負担)	5~10万円(3割負担)
検査の信頼性・精密度	中等度	高度
石灰化・不整脈・心筋症による検査の限界	あり	なし

意見箱

Q テレビ床頭台の引き出し音がうるさくて、夜間など特に開け閉めに気を使います。引き出し音の静かな床頭台に変更できませんか。

A テレビ床頭台は、4月上旬に新しい床頭台に代わり、引き出し音も改善しました。また、地上デジタル放送対応薄型液晶テレビを導入して、収納スペースも増やしました。

紹介状持参のお願い

初診で来院される際には、「**紹介状**」をご持参いただきますようお願いいたします。

・当院では、お近くのかかりつけ医の先生と連携し、専門的な検査や入院治療を行い、皆様のお役に立ちたいと考えております。

「**紹介状**」は、かかりつけ医と当院とを連携するものです。

事前にかかりつけ医からFAXによって診療予約をすることができます。

・紹介患者専用の受付を設置しております。 **お問い合わせ**：地域連携科(病診連携担当) TEL(082)252-6241 FAX(082)252-6240

診療科案内

総合診療科	一般外科	小児感覚器科	歯科・口腔外科
消化器内科	胸部外科	小児科	リハビリテーション科
呼吸器内科・リウマチ科	整形外科	小児外科	放射線科
内視鏡科	脳神経外科	小児腎臓科	麻酔集中治療科
糖尿病・内分泌内科	皮膚科	産科	(ペインクリニック)
腎臓内科	泌尿器科	婦人科	緩和ケア科
循環器内科	眼科	新生児科	透析・移植外科
神経内科	耳鼻いんこう科	生殖医療科	救命集中治療科
精神神経科	頭頸部外科		臨床腫瘍科



受外来診療時間

午前8時30分～午前11時00分
※午後の診療は診療科によって異なります。受付でおたずねください。

休日

土曜・日曜・祝祭日
年末年始(12/29～1/3)

お願い：駐車場は午前中大変混みます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。